

# 大村市政だより

財政事情  
説明書  
特別号

■昭和33年4月23日第三種郵便物認可 ■毎月3回1日・10日・20日発行 ■定価部15円  
■発行所 大村市役所 ■編集人 総務課長 中島享一 ■印刷所 合同印刷所

## 財政事情説明書

### 大村市告示第124号

地方自治法第243条の3第1項並びに大村市財政事情説明書の作成及び公表に関する条例第2条の定めるところにより、大村市の財政事情をつぎのとおり公表します。

昭和43年12月1日

大村市長 大村純毅

### まえがき

財政事情説明書の公表は、毎年上半期と下半期に分けて行なっていますが、今回は昭和42年度決算（見込）と昭和43年度の上半期（4月1日から9月30日まで）の本市財政の状況をお知らせします。

### 決算の概況

昭和42年度一般会計の決算（見込）も市民皆様方のご理解とご協力によりまして、順調な財政運営のもとに歳入総額1,689,590千円、歳出総額1,670,850千円、差引18,740千円の剰余金を生じました。なお、目的別並びに性質別決算（見込）については次のとおりとなっております。

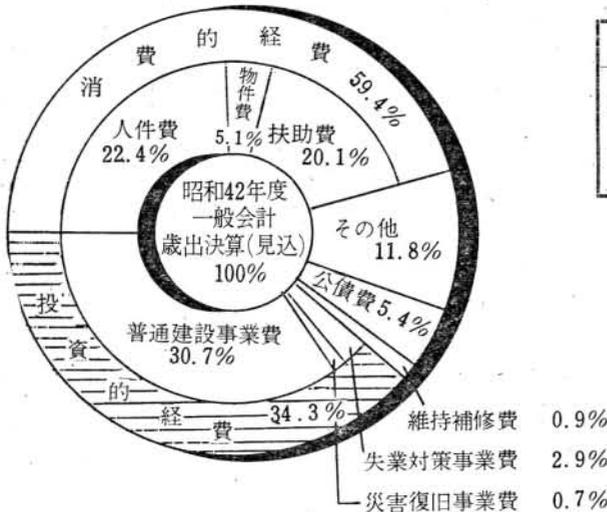
昭和42年度一般会計収入支出実績表

(単位千円)

収入科目	予算額	収入済額	収入率(%)	構成比(%)	支出科目	予算額	支出済額	支出率(%)	構成比(%)
1.市 税	292,722	301,188	102.9	17.8	1.議 会 費	26,001	25,926	99.7	1.6
2.国有提供施設等所在市助成交付金	4,284	4,284	100.0	0.3	2.総 務 費	248,925	247,938	99.6	14.8
3.臨時地方財政交付金	1,338	1,338	100.0	0.1	3.民 生 費	388,602	387,096	99.6	23.2
4.地方交付税	322,341	322,341	100.0	19.1	4.衛 生 費	55,022	54,926	99.8	3.3
5.分担金及び負担金	289	288	99.7	—	5.労 働 費	49,616	49,396	99.6	2.9
6.使用料及び手数料	38,077	39,858	104.7	2.4	6.農 林 水 産 業 費	205,551	204,760	99.6	12.3
7.国庫支出金	444,359	444,076	99.9	26.3	7.商 工 費	42,164	42,112	99.9	2.5
8.県支出金	65,268	64,651	99.1	3.8	8.土 木 費	223,995	223,649	99.8	13.4
9.財産収入	11,752	12,531	106.6	0.7	9.消 防 費	36,019	35,886	99.6	2.1
10.寄附金	4,494	4,429	98.6	0.3	10.教 育 費	294,099	293,346	99.7	17.6
11.繰入金	1	—	—	—	11.災 害 復 旧 費	13,290	12,201	91.8	0.7
12.繰越金	29,451	29,451	100.0	1.7	12.公 債 費	93,614	93,614	100.0	5.6
13.踏 収	328,620	329,155	100.2	19.5	13.諸 支 出 金	1	—	—	—
14.市 債	136,000	136,000	100.0	8.0	14.予 備 費	2,097	—	—	—
歳 入 合 計	1,678,996	1,689,590	100.6	100.0	歳 出 合 計	1,678,996	1,670,850	99.5	100.0

（このページはついでに）

昭和42年度一般会計収入支出実績表のうち、支出の部を性質別に分けてみますと、次の図のようになります。



(昭和42年度特別会計収入支出の実績)  
(単位千円)

会計別	予算額	収入済額	支出済額	収支の差
国民健康保険事業特別会計	207,580	193,313	202,321	△ 9,008
業と畜場事業特別会計	2,342	2,287	2,252	35
計	209,922	195,600	204,573	△ 8,973

昭和43年度一般会計予算と執行状況

(43年9月末現在) (単位千円)

歳入科目	予算額			予算構成比(%)	収入済額	収入割合(%)
	当初	補正	現計			
1. 市税	337,499	—	337,499	21.5	183,136	54.3
2. 自動車取得税交付金	—	9,017	9,018	0.6	—	—
3. 国有提供施設等所在市助成金交付金	4,284	—	4,284	0.3	—	—
4. 地方交付税	321,395	19,319	340,714	21.7	264,020	77.5
5. 交通安全対策特別交付金	1	214	215	—	—	—
6. 分担金及び負担金	4,263	—	4,263	0.3	2,514	59.0
7. 使用料及び手数料	38,722	60	38,782	2.4	19,064	49.2
8. 国庫支出金	386,689	36,221	422,910	26.9	152,519	36.1
9. 県支出金	35,997	1,829	37,826	2.4	4,836	12.8
10. 財産収入	5,933	3,244	9,177	0.6	4,319	47.1
11. 寄附金	2,082	239	2,321	0.1	39	1.7
12. 繰入金	1	—	1	—	—	—
13. 繰越金	1	18,739	18,740	1.2	18,740	100.0
14. 諸収入	248,916	46,511	295,427	18.8	81,628	27.6
15. 市入合計	39,501	10,399	49,900	3.2	4,200	8.4
歳入合計	1,425,285	145,792	1,571,077	100.0	735,015	46.8

歳出科目	予算額			予算構成比(%)	支出済額	支出割合(%)
	当初	補正	現計			
1. 議会費	28,009	24	28,033	1.8	12,982	46.3
2. 総務費	221,876	12,030	233,906	14.9	116,349	49.7
3. 民生費	391,468	26,732	418,200	26.6	202,122	48.3
4. 衛生費	49,617	6,252	55,869	3.6	25,784	46.2
5. 労働費	43,136	8,707	51,843	3.3	23,531	45.4
6. 農林水産業費	128,456	9,686	138,142	8.8	77,194	55.9
7. 商工費	41,831	2,490	44,321	2.8	37,130	83.8
8. 土木費	195,966	54,066	250,032	15.9	75,263	30.1
9. 消防費	38,186	5,974	44,160	2.8	15,483	35.1
10. 教育費	168,398	11,138	179,536	11.4	71,817	40.0
11. 災害復旧費	5,495	460	5,955	0.4	2,192	36.8
12. 公債費	109,241	8,443	117,684	7.5	52,322	44.5
13. 諸支出金	1	—	1	—	—	—
14. 予備費	3,605	△ 210	3,395	0.2	—	—
歳出合計	1,425,285	145,792	1,571,077	100.0	712,169	45.3

市税の住民負担状況の推移

年度	決算額又は 予算額 千円	一人当り 負担額 円	一世帯当り 負担額 円	備 考 (人口) (世帯)
39	220,980	3,828	17,917	57,717 12,333
40	256,226	4,462	20,369	57,420 12,579
41	254,357	4,533	19,072	56,104 13,336
42	301,188	5,393	22,498	55,844 13,387
43	337,499	5,994	24,770	56,303 13,625

※ 43年度は予算額

昭和43年度特別会計収支の執行状況

(単位千円)

会 計 別	予算額	収入済額	支出済額	収支の差
国民健康保険事業 特別会計	246,769	75,693	91,484	△15,791
と畜場事業 特別会計	1,133	511	364	147
計	247,902	76,204	91,848	15,644

市債について

市債とは、学校や住宅の建設、道路の整備などの大きな事業に多額の資金を必要とする場合に国や公営企業金融公庫、市中銀行等から資金を借りて事業を行ないますが、この借入金を市債といい、長期間に少しずつ返済して行くもので、大村市の場合は次のとおりです。

一時借入金しらべ (自43.4.1~至43.9.30)

借入 年月日	借入先	借入金額 千円	利 率	償 還 年月日
43. 4. 5	郵政省	40,000	日歩1銭8厘	43. 6. 7
43. 4. 6	大蔵省	40,000	〃	43. 6. 7

9月30日現在 {人口 56,303  
世帯 13,625

市有財産総括表 (昭和43年9月30日現在)

種 別	数 量	価 格 円
1. 施設敷地	1,171.833.20㎡	356,393,971
2. 建物	98,319.00㎡	1,851,494,545
3. 工作物	40件	151,594,095
4. 車輜	106台	22,926,428
5. 機械器具	101台	17,216,946
6. 山林その他	5,406.221.98㎡	249,725,128
7. 基金及び積立金	2件	7,804,471
8. 出資金	10件	11,674,000
9. 財産権	1件	6,214
合 計		2,668,835,798

※ 6.山林その他には立木及び溜池、雑種地を含む

目 的 別	昭和42年 末 現在高		
	度末 現在高 千円	市民負担額 一人当り 円	一世帯 当り額 円
1. 普 通	612,700	10,882	44,969
庁舎	102,287	1,817	7,507
土木	116,768	2,074	8,570
農林水産	17,395	309	1,277
教育	232,294	4,126	17,049
公営住宅	48,698	865	3,574
民生	2,500	44	184
保健衛生	58,290	1,035	4,278
消防	15,668	278	1,150
改良住宅	18,800	334	1,380
2. 災 害 復 旧 債	106,257	1,887	7,799
土木	76,101	1,352	5,585
農林水産	21,361	379	1,568
文教施設	8,795	156	646
3. そ の 他	192,749	3,423	14,147
転貸債	4,116	73	302
退職手当債	11,643	207	855
公有林	15,100	268	1,108
併存住宅	1,568	28	115
消防	7,500	133	551
市民税減税補てん債	30,161	536	2,214
市民会館建設債	104,861	1,862	7,696
国体施設	11,000	195	807
救農土木	6,800	121	499
合 計	911,706	16,192	66,915

市営企業

業務状況等説明書

大村市告示 第125号

地方公営企業法第40条第1項の規定により昭和43年度上半期の大村市営企業業務の動向及び財政事情をつぎのとおり公表します。

昭和43年12月1日

大村市長 大村 純 毅

市立病院

1. 事業の概要

市立病院は、本市における医療センターとして、また救急医療センターとして施設設備の整備拡充により診療サービスの充実向上に努めておりますが、本年度上半期における入院、外来の患者数は、別表1のとおりであります。施設設備の整備については、レントゲンテレビの導入、病理検査機器の購入等最新の医療装置機器の整備に努めております。

りであります。

別表 1

(1) 入院外来患者数調

区分 月別	本 院		三浦診療所
	入院患者 延 人員	外来患者 延 人員	外来患者 延 人員
4 月	7,308	7,674	209
5 月	7,252	8,577	216
6 月	6,902	8,329	218
7 月	7,113	9,329	211
8 月	6,959	10,303	192
9 月	6,949	8,267	249
計	42,483	52,479	1,295
一日平均	232	341	9
対前年比	98.17%	106.81%	72.67%

(2)

調剤数調(単位剤)

月 別	調 剤 数
4 月	10,989
5 月	11,887
6 月	10,869
7 月	12,245
8 月	12,107
9 月	11,152
計	69,249
一日平均	417

2. 経理の状況

本期間における経理の状況は、別表2のとおり

別表 2 経 理 の 状 況 (昭和43年9月30日 現在) (単位千円)

区 分	予 算 額						予 算 執行額
	当 予 算	初 額	補 正 額	予 支 出	費 用 額	流 増 減 額	
収益的収入							
第1款 病院事業収益	273,502	0	0	0	0	273,502	145,086
第1項 医業収益	271,926	0	0	0	0	271,926	144,120
第2項 医業外収益	1,576	0	0	0	0	1,576	966
合 計	273,502	0	0	0	0	273,502	145,086
収益的支出							
第1款 病院事業費用	273,502	0	0	0	0	273,502	150,181
第1項 医業費用	268,021	0	0	0	0	268,021	147,742
第2項 医業外費用	5,129	0	0	70	0	5,199	2,439
第3項 予備費	352	0	△ 70	0	0	282	0
合 計	273,502	0	0	70	0	273,502	150,181
資本的収入							
第1款 資本的収入	32,003	5,000	0	0	0	37,003	5,030
第1項 企業債	32,000	0	0	0	0	32,000	0
第2項 他会計からの補助金	1	5,000	0	0	0	5,001	5,000
第3項 固定資産売却代金	1	0	0	0	0	1	30
第4項 国庫補助金	1	0	0	0	0	1	0
合 計	32,003	5,000	0	0	0	37,003	5,030
資本的支出							
第1款 資本的支出	42,165	5,060	0	0	0	47,225	24,580
第1項 建設改良費	39,012	0	0	0	0	39,012	17,971
第2項 企業債償還金	3,152	0	0	0	0	3,152	1,550
第3項 不良債務解消のための一時借入金返還	1	5,000	0	0	0	5,000	5,000
第4項 投資	0	60	0	0	0	60	59
合 計	42,165	5,060	0	0	0	47,225	24,580

3. 企業債および一時借入金の現在高

昭和43年9月末における企業債および一時借入金の総額は、別表3.4のとおりであり、本期間に支払済の企業債償還利息は858,625円、一時借入金利息は1,189,040円であります。

別表3 企業債明細書 (昭和43年9月30日現在) (単位千円)

起債目的	借入先	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	利率	償還終期
				当年度償還高	償還高累計			
病院建設事業費	郵政省	昭30.5.24	22,000	981	14,183	7,817	年6分5厘	昭47.3.31
" "	大蔵省	31.7.30	10,000	425	6,609	3,391	" "	48.3.1
看護婦寄舎建設事業費	郵政省	32.3.30	2,000	85	1,328	672	年6分3厘	47.3.31
医師住宅建設事業費	大蔵省	33.5.31	5,000	86	1,246	3,754	年6分5厘	57.2.1
市立病院整備事業費(暖房)	"	43.3.30	6,000	—	—	6,000	" "	53.3.1
" (建物)	"	43.3.30	4,000	—	—	4,000	" "	68.3.1
合計			49,000	1,577	23,366	25,634		

別表4 一時借入金明細書 (単位千円)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	9月末残高	備考
42,000	76,000	66,000	借入先 大蔵省資金運用部 34,000 郵政省簡易保険局 20,000 モーターボート競走事業会計 12,000

4. 決算の状況

収入においては、予算額254,571千円に対して99.8%の254,170,642円を挙げ、支出については、予算額254,571千円に対して99.3%の252,799,397円で収入支出差引1,371,245円の純利益を生じました。

モーターボート

(1) 事業の概況

昭和43年度事業としましては運輸省告示第27号「モーターボート競走場の構造及び設備の規格」に適合するよう観覧席、投票所の新築工事に7月着工し、来年1月末、完成を目標に工事中であります。なお艇庫新築工事は、10月着工し来年1月末、完成の予定であります。又駐車場を確保し観客の誘致を図るため海面を埋立て駐車場造成工事を行いこの完成により約1,300台の自動車が駐車できるようになりました。

諫早市、島原市、多良見町競艇組合のモーターボート競走事業を受託し従来の開催日数に2日増の競走事業を実施してまいりましたが、売上状況は4月以降4回の新記録をつくり1日平均20,584,666円を示し昨年度の同期に比べて31.7%増で順調な発展をとげてまいりました。

(2) 経理の状況

経理の状況は別表1のとおりですが、他会計への繰出金も現在のところ、一般会計へ170,600千円、国民健康保険事業特別会計へ5,000千円、病院事業会計へ5,000千円、水道事業会計へ4,400千円 合計185,000千円の支出を予定し市の財政に貢献しております。

建設改良工事 (単位千円)

工事名	金額	備考
海面埋立工事	21,116	駐車場敷地
投票所、観覧席新築工事	217,340	7月15日着工
エンジン洗浄水槽新設工事	1,290	9月竣工

経 理 の 状 況

(昭和43年9月30日現在) (単位千円)

区 分	予 算 額				合 計	予算執行額	
	当初予算額	補正予算額	予備費充当額	費目流用額			
収益的収入	第1款 モーターボート競走事業収益	2,611,517	278,796	0	0	2,890,313	1,636,678
	第1項 営業収益	2,610,283	278,763	0	0	2,889,046	1,634,586
	第2項 営業外収益	1,234	33	0	0	1,267	2,092
	合 計	2,611,517	278,796	0	0	2,890,313	1,636,678
収益的支出	第1款 モーターボート競走事業費用	2,346,521	223,556	0	0	2,570,077	1,416,471
	第1項 営業費用	2,340,449	221,777	0	0	2,562,226	1,416,454
	第2項 営業外費用	4,072	0	0	0	4,072	17
	第3項 予備費	2,000	1,779	0	0	3,779	0
合 計	2,346,521	223,556	0	0	2,570,077	1,416,471	
差引当年度利益剰余金		264,996	55,240	0	0	320,236	220,207
資本的収入	第1款 資本的収入	1	0	0	0	1	0
	第1項 固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0
	合 計	1	0	0	0	1	0
資本的支出	第1款 資本的支出	262,338	64,200	0	0	326,538	138,979
	第1項 建設改良費	125,963	14,200	0	0	140,163	63,979
	第2項 投資	375	0	0	0	375	0
	第3項 貸付金	135,000	50,000	0	0	185,000	75,000
	第4項 予備費	1,000	0	0	0	1,000	0
合 計	262,338	64,200	0	0	326,538	138,979	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 326,537千円は、当年度分損益勘定留保資金 12,138千円、建設改良積立金 5,390千円、繰越利益剰余金処分額 29,889千円及び当年度利益剰余金処分額 279,120千円で補てんする。

水 道

1. 水道事業の概況

水道事業は、清浄で豊富な水を供給し、公衆衛生と生活環境の改善に寄与し、公営企業として企業の経済性を発揮し、公共の福祉を増進するよう運営しています。

第5回拡張工事の着手により減断水地区の解消及び使用水量の増加に対応出来るよう努力を続けております。

2. 経理の状況

経理の状況は別表1のとおりです。

3. 企業債・一時借入金の現在高

昭和43年9月末日の企業債一時借入金の現在高は別表2.3のとおりで財政調整資金としての一時借入金は、モーターボート競走事業会計と簡易保険積立金短期資金の借入れ等低利資金により経費節減をはかり運営しています。

## (7) 大村市政だより

昭和43年4月22日第三種郵便物認可 昭和43年12月20日

別表1 経理の状況 (昭和43年9月30日) (単位千円)

区	分	予 算 額					合 計	予算執行額
		当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額			
収益的収入	第1款 水道事業収益	72,996	3,030	0	0	76,026	40,628	
	第1項 営業収益	61,037	0	0	0	61,037	34,263	
	第2項 営業外収益	11,959	3,030	0	0	14,989	6,365	
	合 計	72,996	3,030	0	0	76,026	40,628	
収益的支出	第1款 水道事業費用	72,996	3,030	0	0	76,026	30,420	
	第1項 営業費用	65,046	0	0	0	65,046	26,586	
	第2項 営業外費用	6,950	3,030	0	0	9,980	3,834	
	第3項 予備費	1,000	0	0	0	1,000	0	
合 計	72,996	3,030	0	0	76,026	30,420		
資本的収入	第1款 資本的収入	60,003	11,370	0	0	71,373	0	
	第1項 固定資産売却代金	1	0	0	0	1	0	
	第2項 寄附金	1	0	0	0	1	0	
	第3項 萱瀬ダム償還金充当収入金	2,000	0	0	0	2,000	0	
	第4項 工事負担金	1	0	0	0	1	0	
	第5項 企業債金	58,000	10,000	0	0	68,000	0	
第6項 他会計補助金	0	1,370	0	0	1,370	0		
合 計	60,003	11,370	0	0	71,373	0		
資本的支出	第1款 資本的支出	67,076	11,370	0	0	78,446	5,836	
	第1項 建設改良費	63,241	11,370	0	0	74,611	4,068	
	第2項 企業債償還金	3,235	341	0	0	3,576	1,768	
	第3項 投資費	100	0	0	0	100	0	
第4項 予備費	500	△ 341	0	0	159	0		
合 計	67,076	11,370	0	0	78,446	5,836		

資本的収支として昭和42年度より繰越分40,000千円は金額起債により工事を完了しました

別表2 企業債明細書 (昭和43年9月30日現在) (単位千円)

種 類	発行年月日	発行総額	償 還 高		未償還残高	発行額	利率	償還終期	備 考
			当年度償還高	償還高累計					
上水道事業ダム分担金	36.10.30	20,000	262	2,831	17,169	20,000	年6分5厘	61. 2. 1	借入先 大蔵省資金運用部
"	37. 5.31	62,000	762	7,178	54,822	62,000	年6分5厘	62. 2. 1	"
"	37. 5.31	15,000	577	5,192	9,808	15,000	年7分4厘	52. 3.20	公営企業金融公庫
上水道拡張工事	43. 7.20	30,000	168	168	29,832	30,000	年6分5厘	72. 3. 1	大蔵省資金運用部
"	43. 5.28	20,000	0	0	20,000	20,000	年 7 分	66. 3.20	公営企業金融公庫
計		147,000	1,769	15,369	131,631	147,000			

別表3 一時借入金明細書 (昭和43年9月30日現在) (単位千円)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	9月末現在高	備 考
14,000	21,000	21,000	借入先 郵政省 9,000 日歩 1銭8厘 モーターボート競走事業 12,000 日歩 7厘

配水量表 (単位立方メートル)

区分	配水量	一日平均配水量
4月	224.989	7.500
5月	235.268	7.589
6月	241.559	8.052
7月	285.213	9.200
8月	319.191	10.296
9月	286.062	9.535
計	1,592.282	8.700

給水工事 (単位件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
新設工事	39	34	50	33	26	28	210
増設工事	36	69	40	49	57	29	280
修繕工事	70	78	66	75	73	74	436
漏水修理工事	132	115	106	170	149	138	810
合計	277	296	262	327	305	269	1,736

建設改良工事 (前期分) (単位千円)

工事名	工事費	着年月日	竣工年月日
松並水源ポンプ室工事	610	43. 1.10	43. 4.15
富の原第2水源さく井工事	1,760	43. 1.10	43. 6.15
松並～下久原配水管工事	36,200	43. 1.10	43. 6.30
富の原第1水源用地	1,149	購入月日	43. 4.10
拡張工事関係 固定資産購入費	281	〃	43. 9.10
計	40,000		

※ 第5回拡張工事関係分(継続費繰越分)

給水工事指定業者施工分工事 (単位件)

業者名	新設工事	増設変更工事	計
大村給水設備工業所	64	75	139
協和水道設備有限会社	58	44	102
大博給水工業所	36	74	110
誠和工業株式会社	52	87	139
合計	210	280	490

4. 決算の状況

昭和41年度末の累積欠損金9,255千円は経費節減等の企業努力によって昭和42年度決算に於いて3,959千円の純利益を生じ昭和42年度末では累積欠損金5,296千円となっています。

昭和42年度末の給水人口は38,246人で前年度末より1,795人の増 給水戸数は8,159戸で前年度末より451戸の増となっております。尚昭和42年度を初年度とする第5回拡張工事のうち50,000千円が起債額決定等の都合によって継続費の繰越事業となり40,000千円の工事を完了いたしました。

おことわり

この市政だより(財政事情説明書特別号)は、内容がグラフおよび数字記載の表ものも多く横書のため、編集の都合によりとくに左とじにしております。

また、12月1日付の告示のため市長名は前市長となっておりますのでご了承ください。